

# 北成病院季刊広報誌 ほくせい

医療法人社団 延山会  
北成病院  
広報編集委員会

〒001-0933  
札幌市北区新川西3条2丁目10-1  
TEL 011-764-3021  
FAX 011-764-4331

夏号

## 第6回北成病院夏祭り



8月6日(土)快晴の中、今年も長期の入院患者様にも夏気分を満喫していただくため、病院駐車場で恒例の夏祭りが開催されました。

第4回目からYosakoiソーランの演舞を近隣のチームの方々に披露していただきしており、今年は『天狗乱舞』の皆さんのが華やかな踊りで入院患者様も楽しんでいました。

また、提灯や綿あめ・焼そばなどの出店で、お祭りの雰囲気も十分楽しんでいただきました。

第6回北成病院夏祭り	-----	1頁
食中毒について	-----	2頁
介護保険法の改正	-----	3頁
薬学実習生の受入	-----	3頁
患者様の作品	-----	4頁
病院からのお知らせなど	-----	4頁



### 理念

日々研鑽を積み、全人的対応をもって、良質な医療を提供し、組織一体となって地域社会に貢献することを目指します。

### 基本方針

1. 私たちは、医療人としての自覚を常にもち、切磋琢磨してチーム医療を実践します。
2. 私たちは、急性期から慢性期まで、患者様の立場に立ち、真心こめた医療サービスを提供します。
3. 私たちは、患者様の権利と安全を重視し、地域の皆様から信頼される病院づくりを目指します。
4. 私たちは、経営の健全性を高め、安定した病院経営を続けられるよう努力します。

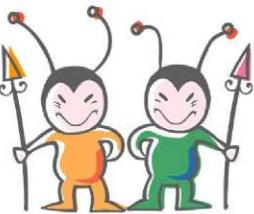
# 夏にピークの食中毒



夏はお腹をこわしやすい季節。発熱・腹痛・嘔吐・下痢：夏風邪でしょうか？  
風邪は呼吸器にくるウイルス感染症の総称ですが、夏風邪は冬の風邪と違い、エンテロウイルスという腸管ウイルスが原因になることが多いため、お腹の症状が主体にくる夏風邪も多いのです。

でも症状が強かったら細菌性食中毒の可能性も考えなくてはいけません。新聞やテレビで報道される食中毒は旅館やレストランなどたくさんの食事を作るところがほとんどですが、実は毎日食べている家庭の食事でも発生しているのです。

夏は細菌の増殖しやすい季節。新鮮な食材を調達しても、海水温の上昇とともに海水中のビブリオ菌は増えて魚についていることがありますし、肉・野菜にはサルモネラや病原性大腸菌などが、調理する人の手には黄色ブドウ球菌などの細菌がついていることがあります。それを放置して家庭で増殖させてしまうと食中毒の発生です。症状が重篤化し、子供や高齢者では命にかかわることもありますから、症状が強い時には夏風邪と決めつけず、病院を受診しましょう。（副院長：棚澤 哲）



## 食中毒予防の3原則 「つけるな、ふやすな、やっつけろ」

8月も下旬になるとそろそろ体にも疲れが見えて来る頃と思います。一般には意外と知られていないようですが秋も食中毒が起りやすい季節なのです。涼しくなってきたからと安心してしまい、つい食中毒予防を怠ってしまうのが原因の一つです。

そこで、秋に向けて家庭での食中毒予防法についてお話をします。みなさんは、食中毒予防の3原則（つけるな、ふやすな、やっつけろ）という言葉を聞いたことがありますか？

食中毒予防の3原則は食中毒予防の基本となります。では、実践するためどのような事に気をつけると良いのでしょうか？

### ●「つけるな(菌を付けない)」……食中毒菌による汚染防止

#### (二次汚染の防止も含む)

食中毒菌は食材、調理器具、人の手指、化膿創などいたる所に存在する可能性があります。

このため、食品を取り扱う人、調理器具などの衛生管理が重要です。

1. 食品をとり扱う前後、トイレに行った後、外出後には手を石鹼でよく洗う。
2. 調理器具はこまめに洗浄、充分に消毒乾燥させる。(まな板の傷の中、包丁の柄の部分にも菌は潜んでいます)

### 《消毒方法》

- ◇布巾、包丁……………熱湯100℃で5分以上煮沸
- ◇まな板、カップ、食器……………（水分をふき取り）濃度70%以上アルコールで噴霧

3. 野菜や果物など生食用に用いるまな板と、肉・魚に用いるまな板は分けて使用する。

4. 生魚介類、冷凍のえび、かには調理する前に流水で洗う。

### ●「ふやすな(菌を増やさない)」……食中毒菌の増殖防止

細菌が増殖する最も大きな要素の一つは温度です。一般的な

細菌は10℃～37℃で急速に増殖します。この温度帯で3～4時間もすると食中毒を起こす菌数に達することがあります。例えばO-157は室温でも15分～20分で2倍以上増えます。

食中毒菌を増やさないためには、温度と時間の管理が重要です。

1. 冷蔵するものは10℃以下、保温するものは65℃以上で保管しましょう。
2. 冷蔵、冷凍庫は詰めすぎないことが大切です。庫内容量の70%以内が適量です。
3. 冷凍食品の解凍は冷蔵庫で行います。水で解凍する場合は流水で手早く行いましょう。
4. 作った料理は室内に放置せず、なるべく早く食べましょう。（2時間以内が理想です）
5. 作りおきはなるべくせず、食べる分だけ作るようにしましょう。（作りおきした料理は日付をつけて保管し、早めに食べましょう）

### ●「やっつけろ(菌を殺す)」……殺菌

細菌は一般に70℃～80℃で死滅するので食品の中心温度は75℃以上に加熱しましょう。しかし、ウエルッシュ菌のような耐熱性の芽胞を形成する食中毒菌、食中毒菌の產生した毒素、ノロウイルスは死滅しません。このような菌やウイルスに対しては「つけるな」、「ふやすな」の徹底で食中毒の予防が可能です。

ぜひ、ご家庭でも、今日から食中毒予防の3原則を実行しましょう。（管理栄養士：鳥羽充代）

## 介護保険法が改正されます



最近の新聞報道等で、介護保険制度の一部が改正されるということは皆様ご存知のことと思います。

現在厚生労働省では、その改正について審議が行われており、これが決定されると**平成17年10月から介護保険施設の利用料金が値上がりになる予定**です。この介護保険施設とは、一生涯の生活の場となる特別養護老人ホーム、リハビリテーションを行って在宅復帰を目指す介護老人保健施設、医療監視下での長期療養を目的とした介護療養型医療施設のことをいい、多くの患者様にご利用いただいております**当院でも、今回の改正の対象となる病床があります。**

当院には療養病床が86床あり、医療型(64床)と介護型(22床)の2種類に分かれています。今回の改正では介護型のみがその対象となり、医療型をご利用いただいている患者様は今までと変わりませんが、介護型を利用いただいている患者様は、平成17年10月から利用料金が変わる予定です。そこで、実際どのように変わらるのか、お話ししたいと思います。

現在、介護保険施設を利用する時の居住費(部屋代や光熱水費)や食費は保険給付となっており、その一部を利用者様に負担していただく形になっています。

それが今回の改正後、居住費、食費共に全額利用者様負担となる予定です。実際の金額は、厚生労働省で基準額を設定しますが、各施設での裁量もある程度認められるため、施設間で差が生じることも予測されます。またこの居住費は、居室環境の違いにより基準額が違い、個室など環境の良い居室の利用料は高くなりそうです。当院には個室はなく、また可能な限り患者様の立場にたった金額でサービスを提供できるよう検討しているところですが、それでも**月3万円弱の負担増が予測され**、多くの利用者様ご本人にとっても、ご家族にとってもかなり厳しい改正となりそうです。

しかし、厚生労働省でも、低所得の方の在宅サービス、施設サービスの利用が難しくならないよう、**所得状況に応じ居住費や食費に負担上限額を設け**たり、介護保険の一部負担金が一定の上限額を超えた場合その超えた分の払い戻しを受けられるという**高額介護サービス費の見直し**も行うとしています。

8月上旬の時点では正式に決定しておりませんが、私たち医療ソーシャルワーカーは、できる限り皆様の不安や疑問を取り除くお手伝いができるよう情報収集や対応の検討に日々努めております。具体的な内容など不安に感じていらっしゃる方も多いと思いますが、どうぞ1階医療相談室「医療ソーシャルワーカー」にお気軽に声をおかけください。皆様の状況に応じた**更に詳しい説明や各種公的補助制度の紹介**などさまざまなお手伝いができるべと考てております。

(医療ソーシャルワーカー：前田裕美)

## 薬学実習生の受入

当院は薬学実習受入の登録施設となっています。毎年、北海道医療大学と北海道薬科大学からの実習生を受け入れています。今年も7月1日から29日までの約1か月間、北海道医療大学の学生が実習を行いました。そこで、実習生に実習の感想と今後について伺いました。

9月からは北海道薬科大学の学生が実習を行う予定です。

**Q1. 実際に病院の薬局で実習してみての感想はいかがですか？**

井上：薬局の雰囲気がとても良く、全職員の挨拶もしっかりできていることに感  
激しました。また、薬剤師が指示されたことだけではなくて、例えば抗生素の専門的な知識を持ち、薬剤の選択や適正使用など、大事な所をつかんでいると思いました。その他、昼食がおいしく満足でした。

河田：初めての病院実習でした。最近は院外薬局が多いので、院内の薬剤師は調剤の面であまり忙しくないと思っていましたが結構忙しかったです。



**Q2. 今後、どのような薬剤師を目指しますか？**

井上：入院したことがなかったので、調剤薬局のイメージしかありませんでしたが、この実習を経て、服薬指導をする時など患者様の理解が深まるよう、うまく話せる薬剤師になりたいと思います。

河田：患者様は看護師には色々聞けても、医師にはなかなか聞けない方が多いと思うので、薬に関して十分な知識を持ち、中間的な役割を果たしたいと思っています。

卒後、無事国家試験に合格し、病院薬剤師として患者様のために活躍することを期待しています。

(薬局長：唯野晃弘)

# 作品紹介



療養病棟では入院中の皆様やスタッフとで、切り絵・絵画など色々な作品を作り楽しんでいます。それらの作品は廊下に掲示しており、ご家族や職員の目を楽しませています。

今回はその中で、患者様とスタッフによる「フルーツバスケット」を紹介します。

絵が上手なスタッフが果物の絵を描き、患者様には色を塗っていただきました。その色彩は一人一人がそれぞれの果物の色を思い浮かべ、絵の具で色鮮やかに塗ってあり、まるでどの果物も本物のようにみずみずしく、美味しそうに描かれています。思わず色々な果物に触れ、口に入れたくなるほどの出来栄えです。また、フルーツバスケットの横には書道が得意な患者様の手により“メッセージ”が書かれています。

是非、お時間がございましたら、3階まで足を運んで見にいらして下さい。(3階看護師：成田久美子)

## 新川連合町内会運動会



平成17年6月19日（日曜日）、新川中央小学校で、新川連合町内会の運動会が行われました。北成病院からは木戸診療部長が緊急時対応と応援のために駆けつけました。

また、7月15日から17日までは『北海道高等学校選手権水泳競技大会』での救護班として、看護師3名が参加しました。

## お知らせ

平成17年6月13日から**面会終了時間**を19時から**19時30分に延長**しました。ご家族の方からは20時までにして欲しいとの声もありましたが、療養環境等の事情により19時30分となっております。ご理解のほどお願い申し上げます。

## 編集後記

今季号の発行から編集委員が一部変わりました。今までの3刊に負けないよう、病院の情報を分かりやすく患者様やご家族、地域の皆様に発信していきたいと思っています。また、発行月を次季号から1・4・7・10月の第4金曜日とします。これからも宜しくお願いします。(編集委員：安宅宜洋)

## 北成病院概要

- 診療科目：内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・放射線科
- 病床：一般病床 58床（I群入院基本料2）  
療養病床 64床（療養病棟入院基本料I）  
介護病床 22床（療養型介護療養施設サービス費I）

## ～患者様とご家族の権利～

1. 基本人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を公平に受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか、受けないかを決定する権利
5. プライバシーを保護される権利
6. 健康であるために情報を求める権利
7. 他の医師に診断を受け、治療法についての意見（セカンドオピニオン）を聞く権利

